

# 令和4年8月15～16日の低気圧に伴う 降雨による後志利別川の出水概要(速報版)

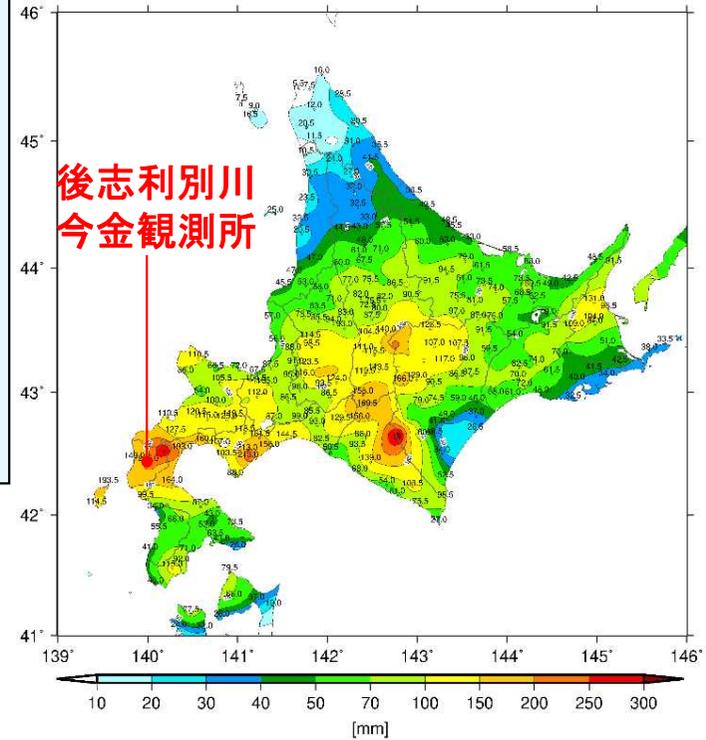
※本速報に記載されている数値や図表は、令和4年9月13日現在の速報値であり、今後、変更となる可能性があります。

令和4年9月13日  
国土交通省北海道開発局  
函館開発建設部

しりべしとしべつ  
令和4年8月16日後志利別川における出水概要

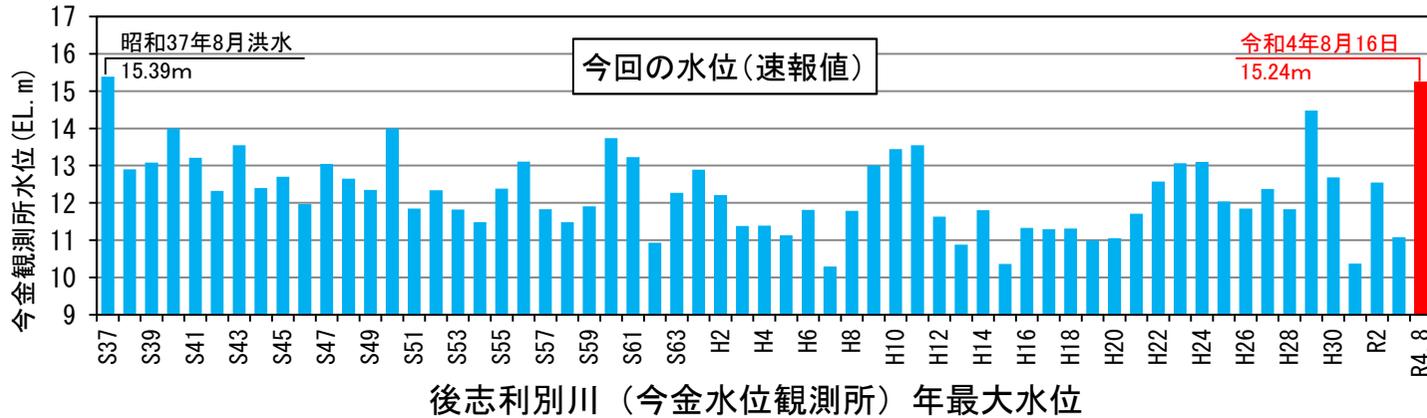
令和4年8月15日から16日にかけて、前線を伴う低気圧により、後志利別川の流域では大雨となりました。**今金観測所（開発局）での24時間の降水量（8月15日17時～16日16時）は、既往第1位となる225mmを観測しました。**

この降雨により、**ほぼすべての水位観測所で「氾濫注意水位」を超過し、今金観測所（開発局）では「避難判断水位」を一時超過しましたが、これまで進めてきた河川整備や美利河ダムによる洪水調節によって水位低下を図り、今回の出水では、各所で局所的な内水氾濫被害等が発生したものの、外水氾濫による大きな被害は発生しませんでした。**



令和4年8月15日～16日の雨量分布  
総降水量分布図（資料提供：日本気象協会）

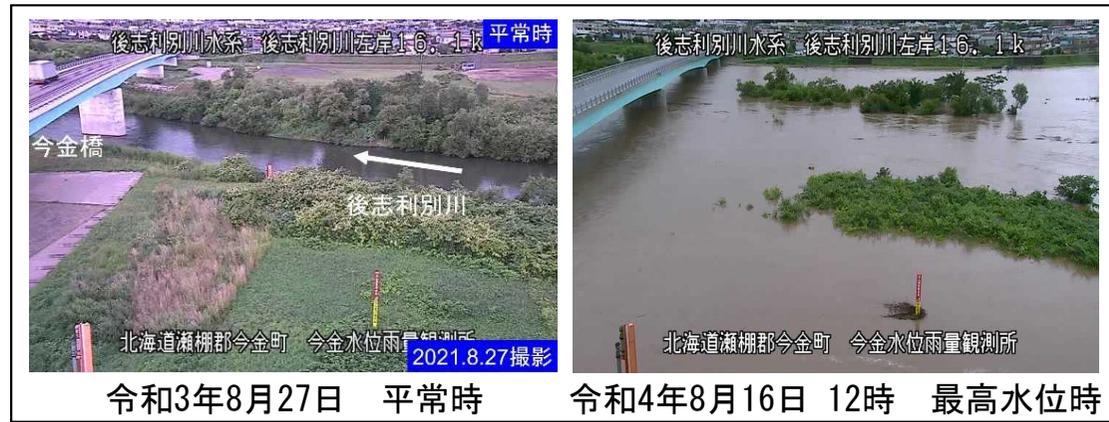
※作図のためのデータは北海道開発局河川テレメータ及びアメダスのデータを使用



後志利別川（今金水位観測所）年最大水位



観測所	河口	大富	今金	住吉	花石
観測最高水位	2.37m	8.96m	15.24m	27.90m	63.52m
氾濫注意水位	1.50m	7.20m	12.90m	28.00m	63.00m
避難判断水位	—	—	15.20m	28.50m	—



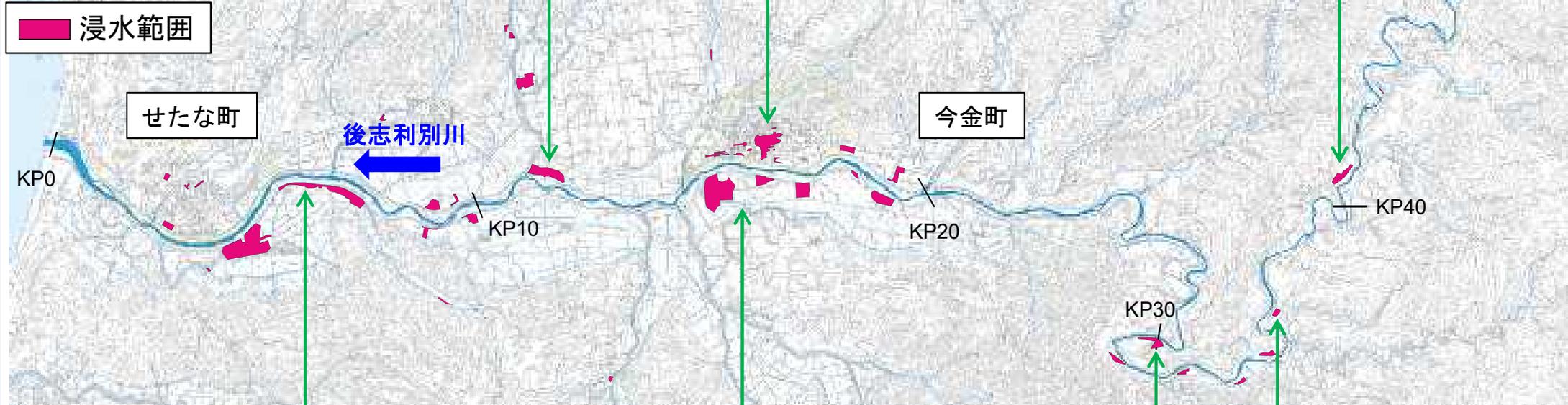
令和3年8月27日 平常時 令和4年8月16日 12時 最高水位時

今金水位観測所（KP16.1付近）の状況

※速報のため、数値等は変わる可能性があります

# 後志利別川の出水状況・浸水状況

後志利別川では、前線を伴う低気圧による大雨の影響により、市街地や農地等の約169haの内水氾濫等が発生しました。



# 後志利別川の浸水状況～市街地区～

せたな町市街地では約5haの浸水(内水)、今金町市街地では約17haの浸水(内水)となりました。



# 治水事業の効果（後志利別川）

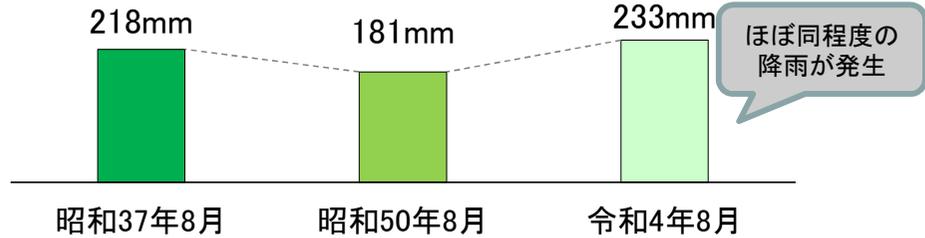
後志利別川では、**築堤、河道掘削等を順次進め、平成3年に美利河ダムを整備**しています。  
 令和4年8月の前線を伴う低気圧による大雨では、昭和37年8月や昭和50年8月と同規模の降雨を記録しましたが、後志利別川流域において**浸水被害等は大幅に減少**しました。

## 同程度の降雨（24時間雨量）が発生した出水について

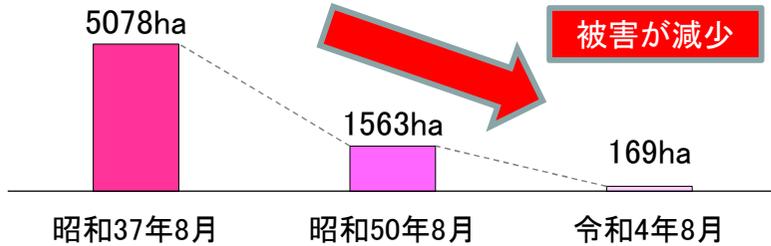
発生年月	流域平均雨量 今金地点 (mm/24H)	氾濫面積 (ha)	被害家屋数 (戸)
昭和37年8月	218	5,078	1,896
昭和50年8月	181	1,563	133
令和4年8月	233	169	58

※速報のため、数値等は変わる可能性があります。

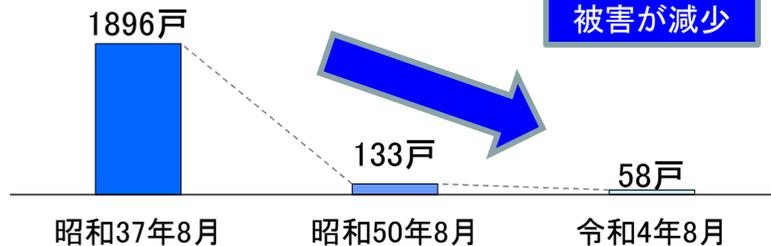
### <流域平均雨量（今金地点）>



### <氾濫面積>



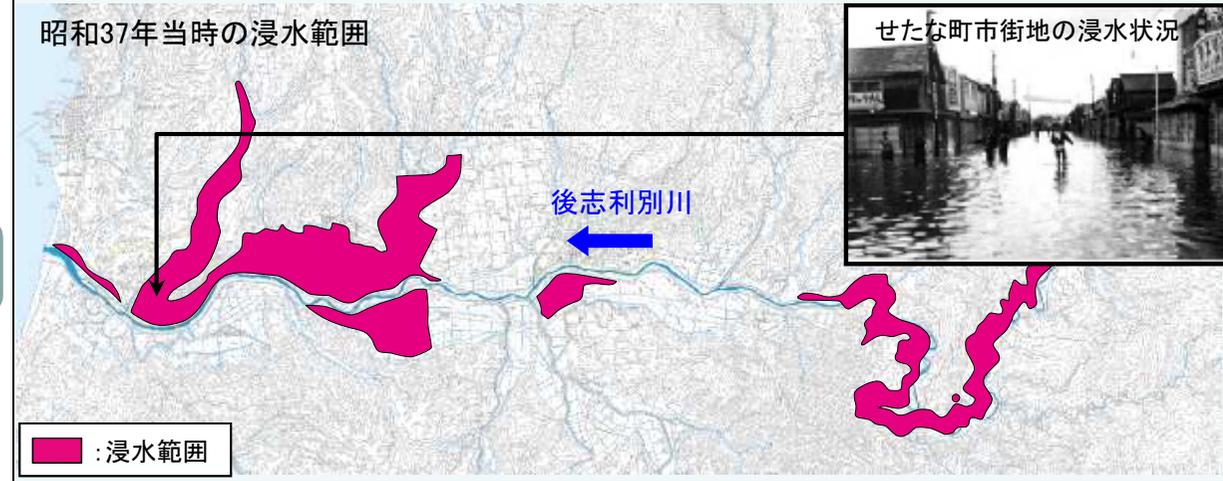
### <被害家屋>



## 昭和37年8月出水

台風9号による大雨の影響により、後志利別川が氾濫し、家屋の床上・床下浸水、田畑の冠水等の大きな被害を受けました。

昭和37年当時の浸水範囲



河川の整備により浸水による被害が大幅に減少

## 今回（令和4年8月）の出水

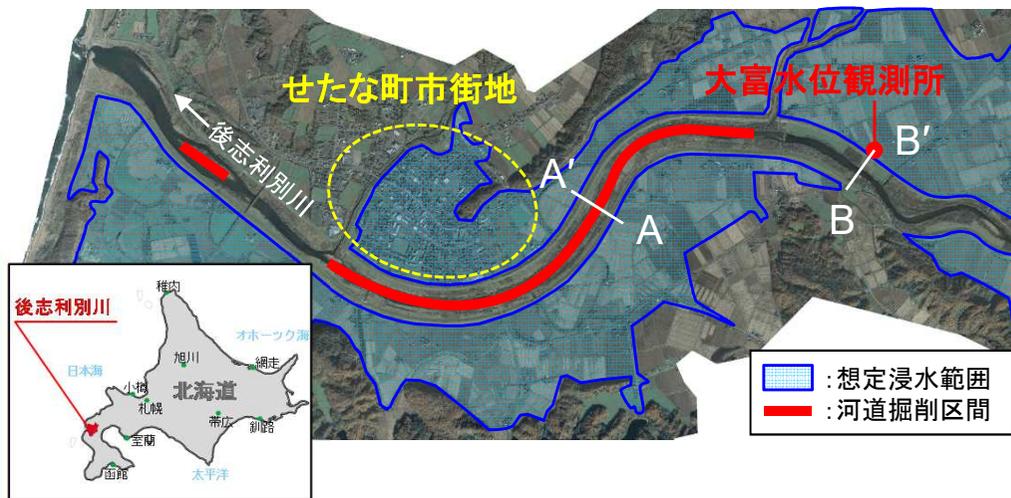
今回の浸水範囲



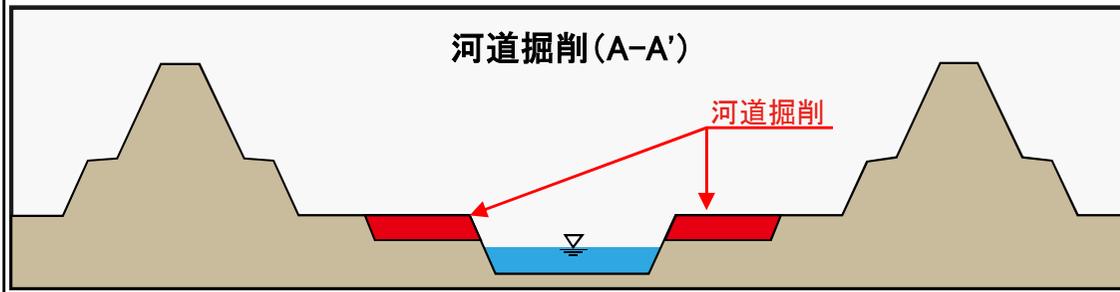
# 洪水に対し河川整備[河道掘削]が効果を発揮(北海道 後志利別川)(国管理)

- 令和4年8月15日～16日、前線を伴う低気圧による豪雨により後志利別川流域において出水が発生。
- 平成19年度策定の現行整備計画に基づく河川整備(河道掘削)によって、約0.6mの水位低減効果を果たし、せたな町市街地の浸水被害軽減に大きく寄与しました。

## 掘削による水位低減効果(大富水位観測所)

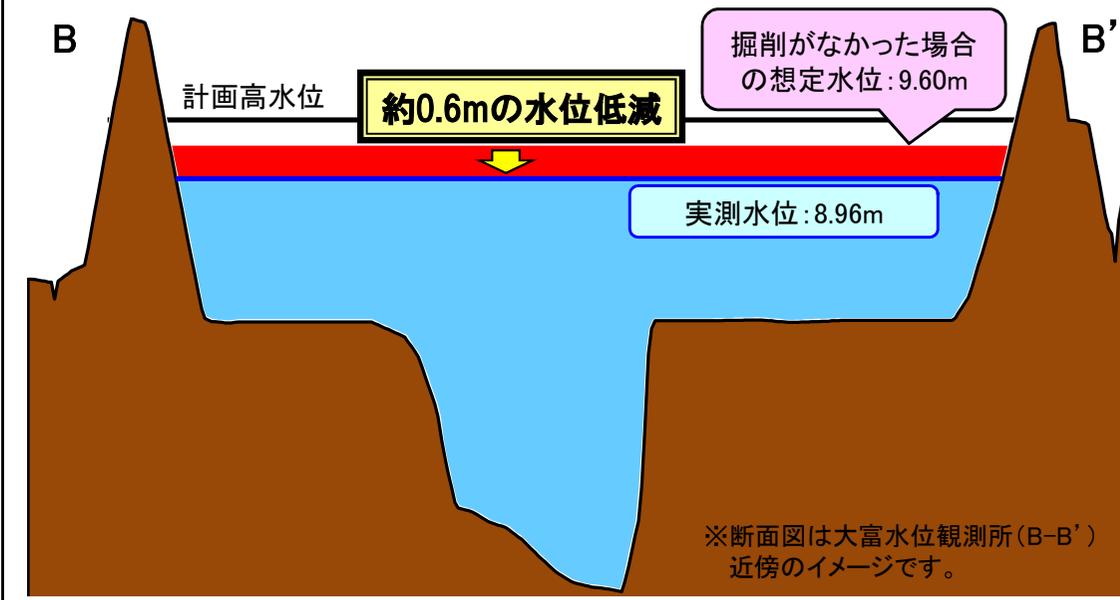


## ■整備概要



## ■水位低減効果(イメージ図)

- 平成19年度からの河道掘削事業により、水位を約60cm低下させたものと推定され、外水氾濫のリスクを低下させることができました。



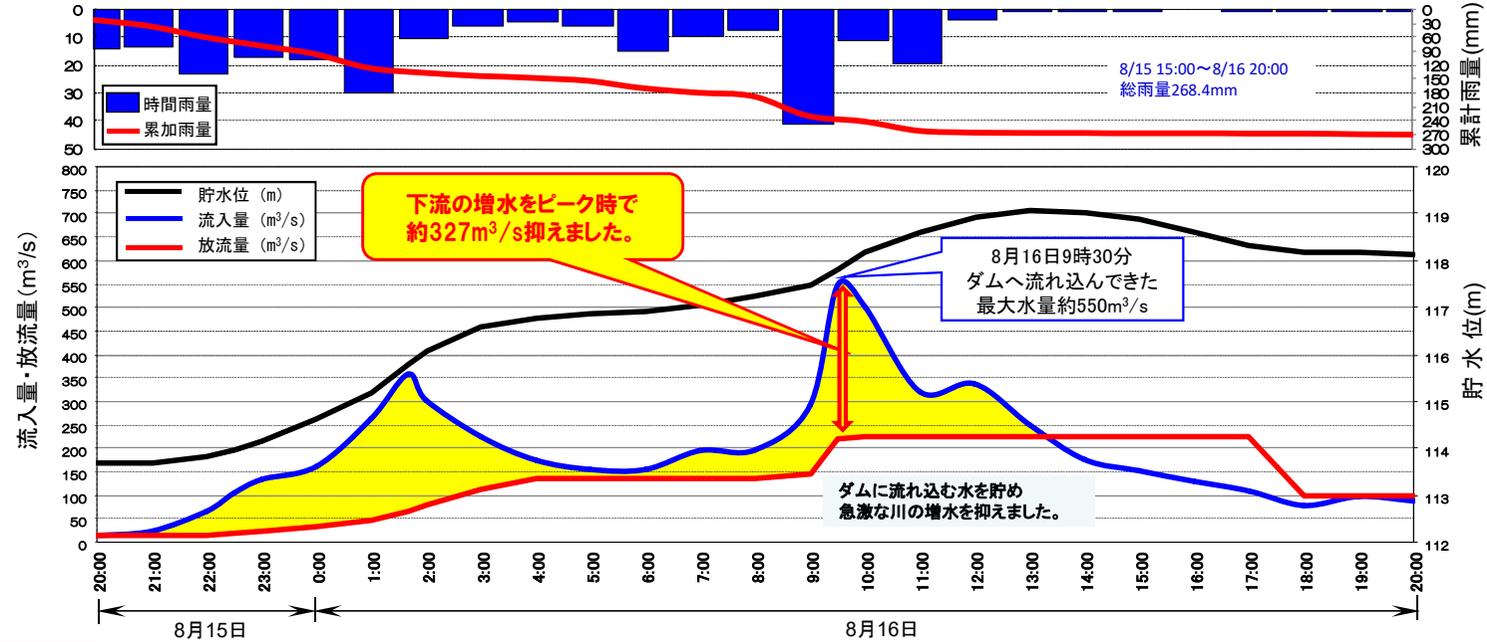
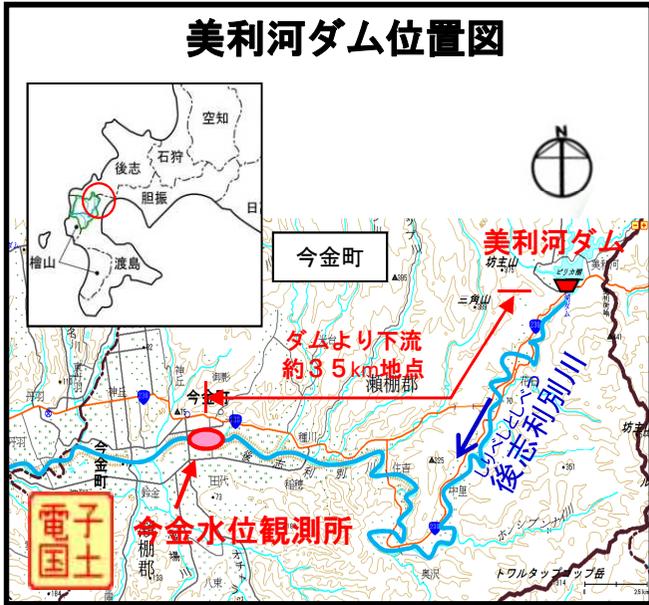
※実測水位は大富水位観測所で観測された水位。  
※速報のため、数値等は変わる可能性があります。

# 洪水に対しダム整備が効果を発揮(北海道 美利河ダム)(国管理)

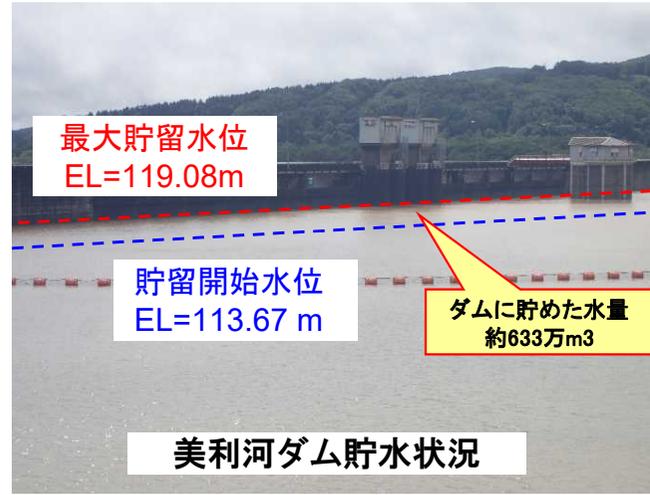
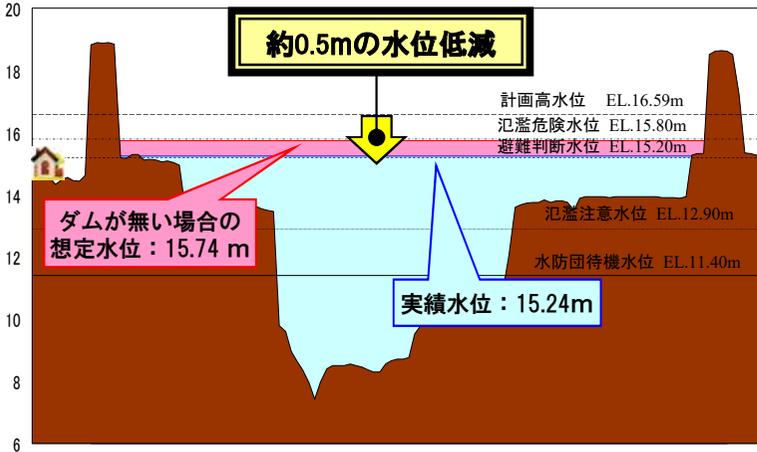
- 令和4年8月15日～16日、前線を伴った低気圧による大雨により、美利河ダムにおいては、洪水量を超える流入量を観測。
- 美利河ダムの防災操作によって、下流河川の水位低減を図り、**下流の今金町付近(今金水位観測所)では、水位を約0.5m低減**させる効果があったものと推測されます。
- 仮にダムが整備されていなければ**氾濫危険水位※**に迫る**出水**となっていたことが想定されます。

※氾濫危険水位:洪水により相当の家屋浸水等の被害を生ずる氾濫の起こるおそれがある水位。

## 美利河ダムの防災操作



## 今金水位観測所地点における水位低減効果



※本資料の数値は速報値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

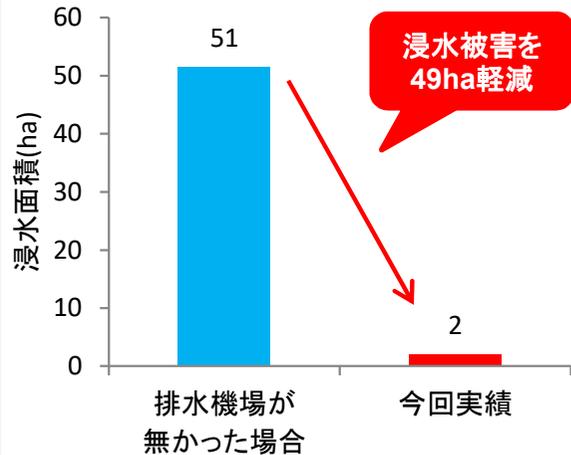
# 排水機場が効果を発揮(北海道 北檜山排水機場)(国管理)

- 令和4年8月15日～16日、前線を伴う低気圧による豪雨により後志利別川流域において出水が発生。
- 北檜山排水機場は約23時間稼働し、約30万m<sup>3</sup>の内水排除を実施。
- 仮に排水機場がなかった場合、約51haの浸水が想定され、排水機場の稼働により96%以上(約49ha)の浸水被害を軽減したと想定されます。

排水機場がなかった場合の想定される浸水範囲(令和4年8月出水)



浸水想定面積 (ha)

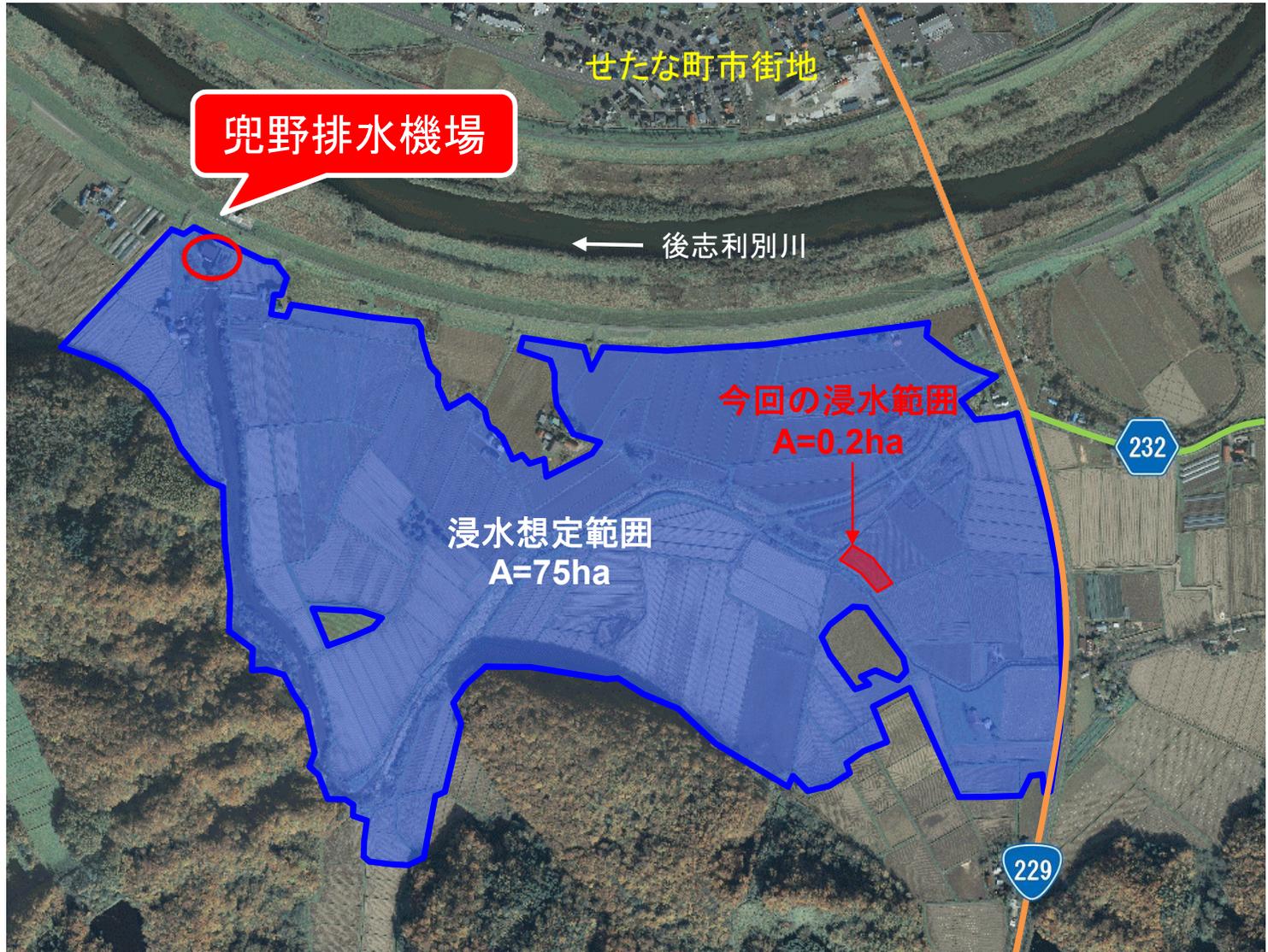


# 排水機場が効果を発揮(北海道 兜野排水機場)(国管理)

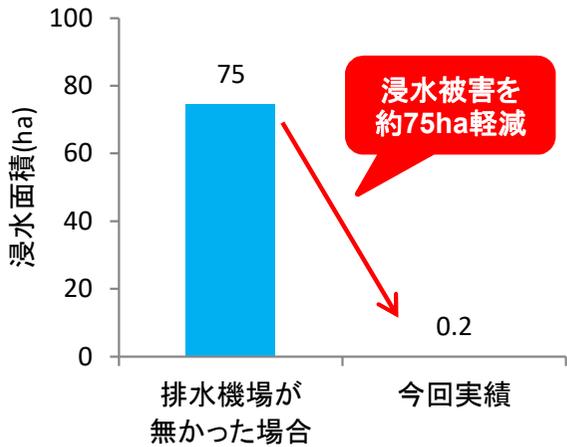
- 令和4年8月15日～16日、前線を伴う低気圧による豪雨により後志利別川流域において出水が発生。
- 兜野排水機場は約35時間稼働し、約72万m<sup>3</sup>の内水排除を実施。
- 仮に排水機場がなかった場合、約75haの浸水が想定され、排水機場の稼働により99%以上(約75ha)の浸水被害を軽減したと想定されます。



排水機場がなかった場合の想定される浸水範囲(令和4年8月出水)



浸水想定面積 (ha)



## 函館開発建設部・地域自治体の取組

開 建 ) 地域の迅速かつ的確な水防活動のため、定期的な**水位予測などを実施し、情報提供**を行ったほか**水位状況の監視**を行い、樋門や排水機場などの**河川管理施設の的確な操作**を行いました。

開 建 ) 浸水被害を軽減するため、せたな町、今金町からの要請により**排水ポンプ車を派遣**しました。

自治体) 町内で発生した内水氾濫箇所において、**排水ポンプの設置・排水作業を実施**し、被害を最小限に食い止める活動を行いました。

開 建 ) 堤防などの管理施設の状況や氾濫被害の発生状況確認のため、**河川巡視及び監視による現地調査**を行いました。

開建) 河川管理施設操作状況(樋門操作)



開建) 排水ポンプ車による支援 ①



自治体) 市街地内水排除状況(今金町)



開建) 河川巡視状況



開建) 排水ポンプ車による支援 ②



自治体) 市街地内水排除状況(せたな町)

